

参 考 手 本

情を寄す千里の光に

寄  
情  
千  
里  
光

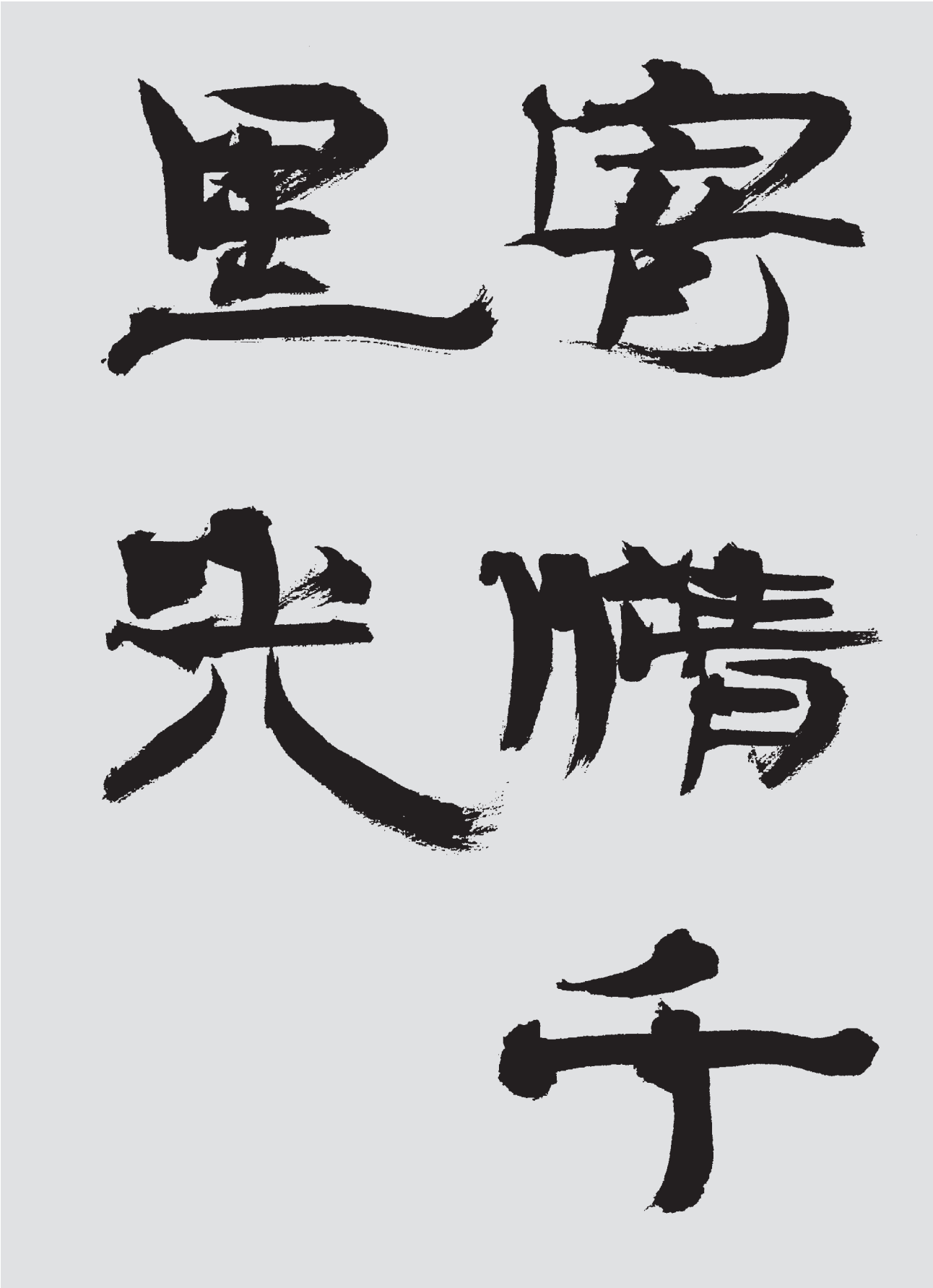
※これは規定課題ではありません。

高  
木  
聖  
雨  
先  
生

参 考 手 本

情を寄す千里の光に

高 木 聖 雨 先 生



※これは規定課題ではありません。

条幅かな

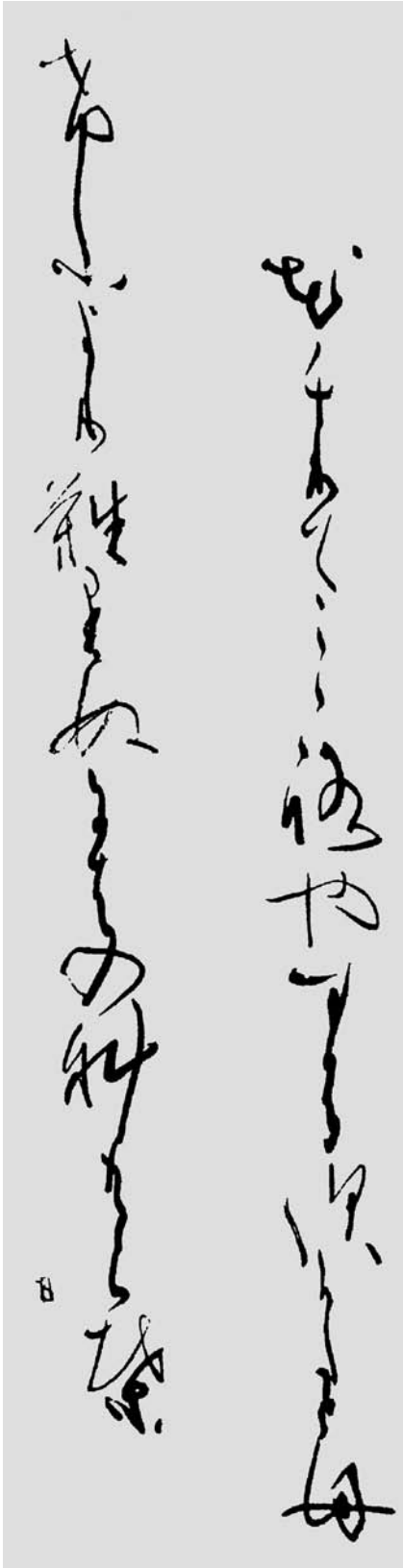
条幅規定

C部 (二段以下)

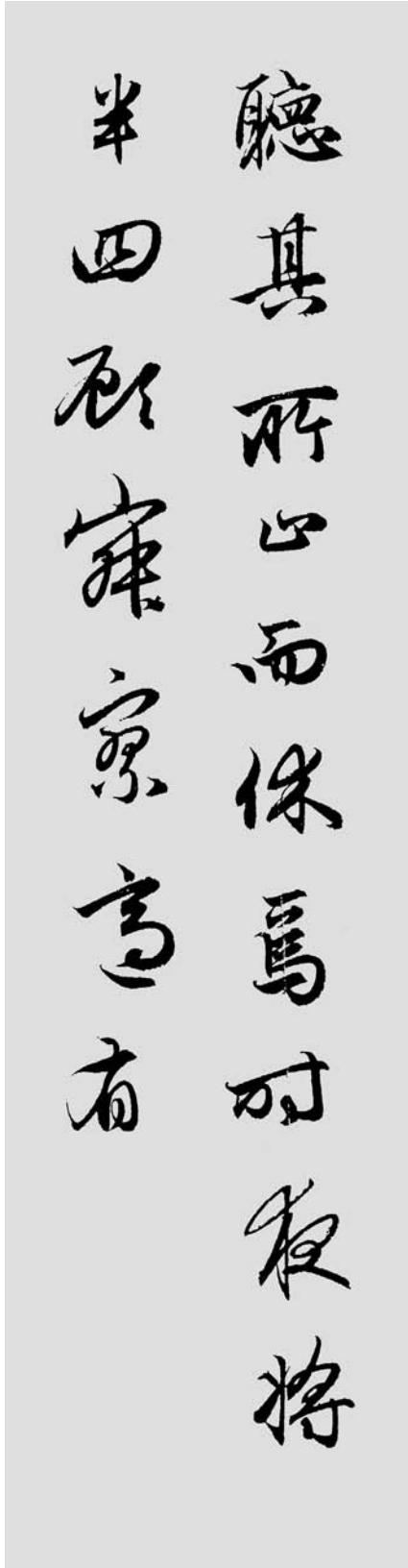
A部 (準五段以上)

B部 (四段~準三段)

花<sup>はな</sup>ちりて<sup>千</sup>こころ<sup>利</sup>やすかる<sup>路</sup>姿<sup>可</sup>とも<sup>須</sup>けふ<sup>多</sup>より<sup>かた</sup>なり<sup>母</sup>ぬ<sup>希</sup>には<sup>利</sup>の<sup>難</sup>さ<sup>里</sup>くら<sup>爾</sup>ば<sup>者</sup> (大隈言道) ※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。



前後赤壁賦 (元・趙孟頫)  
聽其所止而休焉時夜將半四顧寂寥適有  
浮 乗 清 郷 先 生



道因法師碑 (唐・歐陽 通)  
攝論聽者千人時有寶暹法師東海人也植藝



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(4月10日締切)

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



孝廉謁者金

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

孝・廉・謁・者・金・城

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(4月10日締切)

半紙規定 (二)

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)



清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書  
〔二級以下〕楷書

・上智は斯こゝに悦よきぶ。謙として流よれ下を潤し、

上智斯悦流

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(4月10日締切)

条幅参考手本



青柳江雲先生

連夜深山雨 春光應未多 曉看洲上草 綠到洞庭波  
連夜深山の雨 春光応に未だ多からず 曉に看る洲上の草 緑は到る洞庭の波

田辺玉翠先生



輦路生春草 上林花滿枝 憑高何限意 無復侍臣知  
輦路春草を生じ 上林花枝に滿つ 高きに憑る何限の意 復侍臣の知るなし

条幅参考手本

急がば廻れ



朝平霞山先生

獨坐幽篁裏 彈琴復長嘯 深林人不知 明月來相照  
 獨り幽篁の裏に坐し 琴を弾じ復た長嘯す 深林人知らず 明月来たりて相照らす



大井岳陵先生

半紙かな（初段以上）

いま桜咲きぬと見えてうすぐもり春に霞める世のけしきかな（式子内親王）

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらし文字変換は自由

支部名

段

姓

号

（鉛筆可）

式子内親王  
 春に霞める世のけしきかな  
 式子内親王

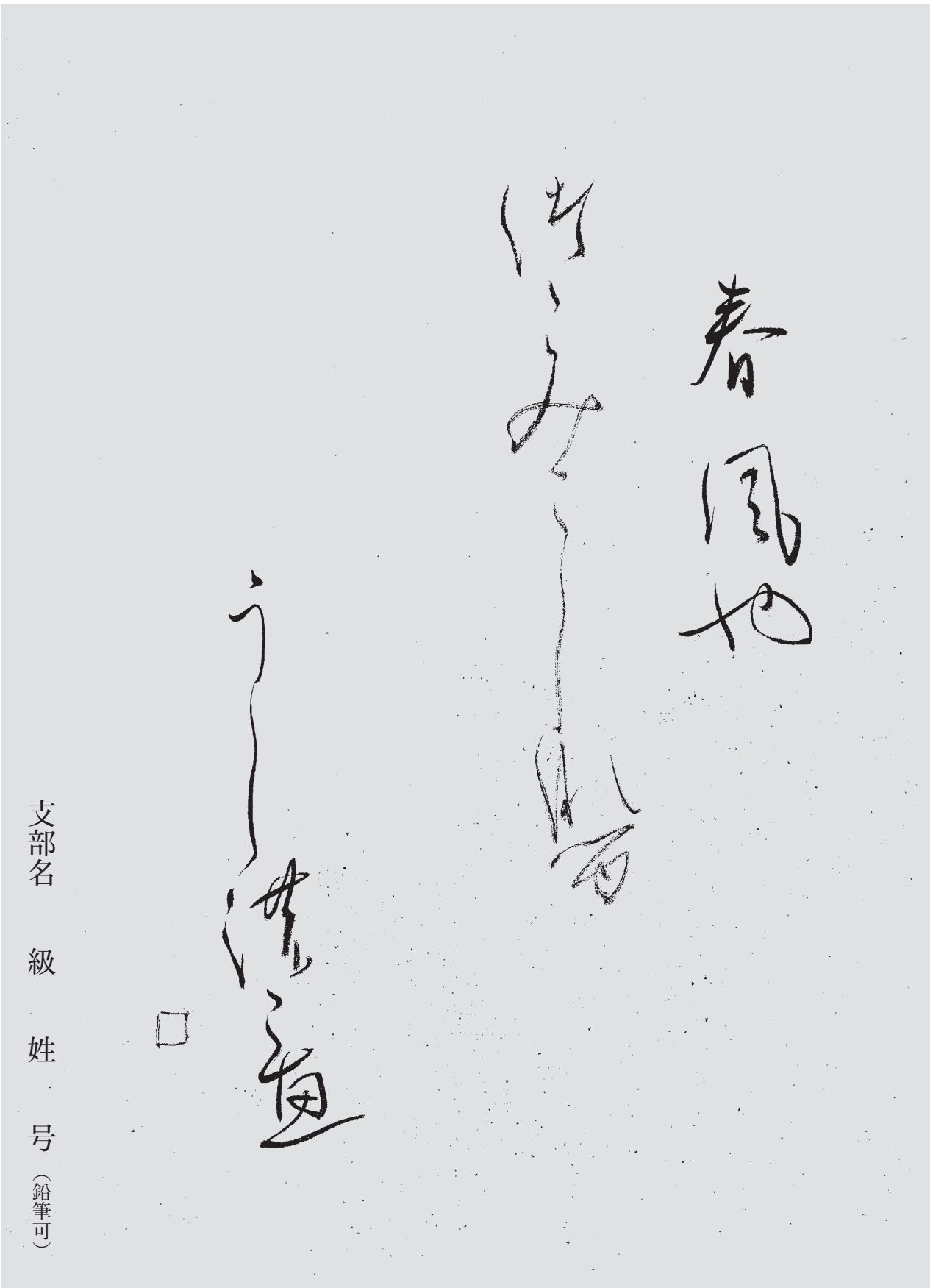
浮乗清郷先生

（4月10日締切）



半紙かな（1級～8級）

春風はるかぜや  
堤つつみごしなる牛うしのこゑこゑ  
徒々 那留 濃 恵  
(小西来山)



※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちりし文字変換は自由

船久保 棠 苑 先生

(4月10日締切)

実用文（準三段以上）

〈書風任意〉

翠玉揺くくく行きて復止まり

西のかた都門を出ずるくくと百余里

六軍癸せず奈何もする無し

宛転たる蛾眉馬前に死す。衣鈿

地に委し人の收むる無し

長恨歌より

地名

あり

籍号

田辺玉翠先生

(4月10日締切)

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

早速、道德経全巻を書写して交換  
してもらったという故事に因ったもの  
である。あつから、換我鳥は書道  
自体を指す言葉にもなっている。

支部名 段級 姓号

朝平霞山先生

P3 「換鷲」の語源より

（4月10日締切）

細 字

※一級〜八級は草書まで。初段以上は隸書まで。

名前は必ず楷書 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

支 部

段

姓

号

藝	藝	藝	藝
術	術	術	術
鑑	鑑	鑑	鑑
賞	賞	賞	賞
油	油	油	油
彩	彩	彩	彩
彫	彫	彫	彫
塑	塑	塑	塑
展	展	展	展
覽	覽	覽	覽

# 硬筆（初段以上）

まだく風の冷たい季節、あちこちで咲いて  
いる紅白の梅の花に春の兆しを感じよ  
す。春はそろそろで来ています。三月は別れの  
季節でもあります。春と一緒にやっ  
てくる新しい出会いが待ち遠しいですね。

支部名

段

姓 号

硬筆（4級以下）

支部名

級

姓

号

小さい頃に読んでもらった絵本の楽しい  
思い出は、生涯忘れないものです。

本院定型用紙・たて半分に書く

齊藤 翡翠 流 先生

硬筆（1級～3級）

支部名

級

姓

号

小さい頃に読んでもらった絵本の楽しい  
思い出は、生涯忘れないものです。

齊藤 翡翠 流 先生

（4月10日締切）

新中2用

支部名  
 花  
 校  
 庭  
 段級  
 咲  
 人  
 名  
 前

田邊玉翠先生

新中3用

支部名  
 の  
 庭  
 段級  
 桜  
 吹  
 雪  
 名  
 前

田邊玉翠先生

(4月10日締切)

新小6用

支部名  
段級  
名前

小山道の

朝平霞山先生

新中1用

支部名  
段級  
名前

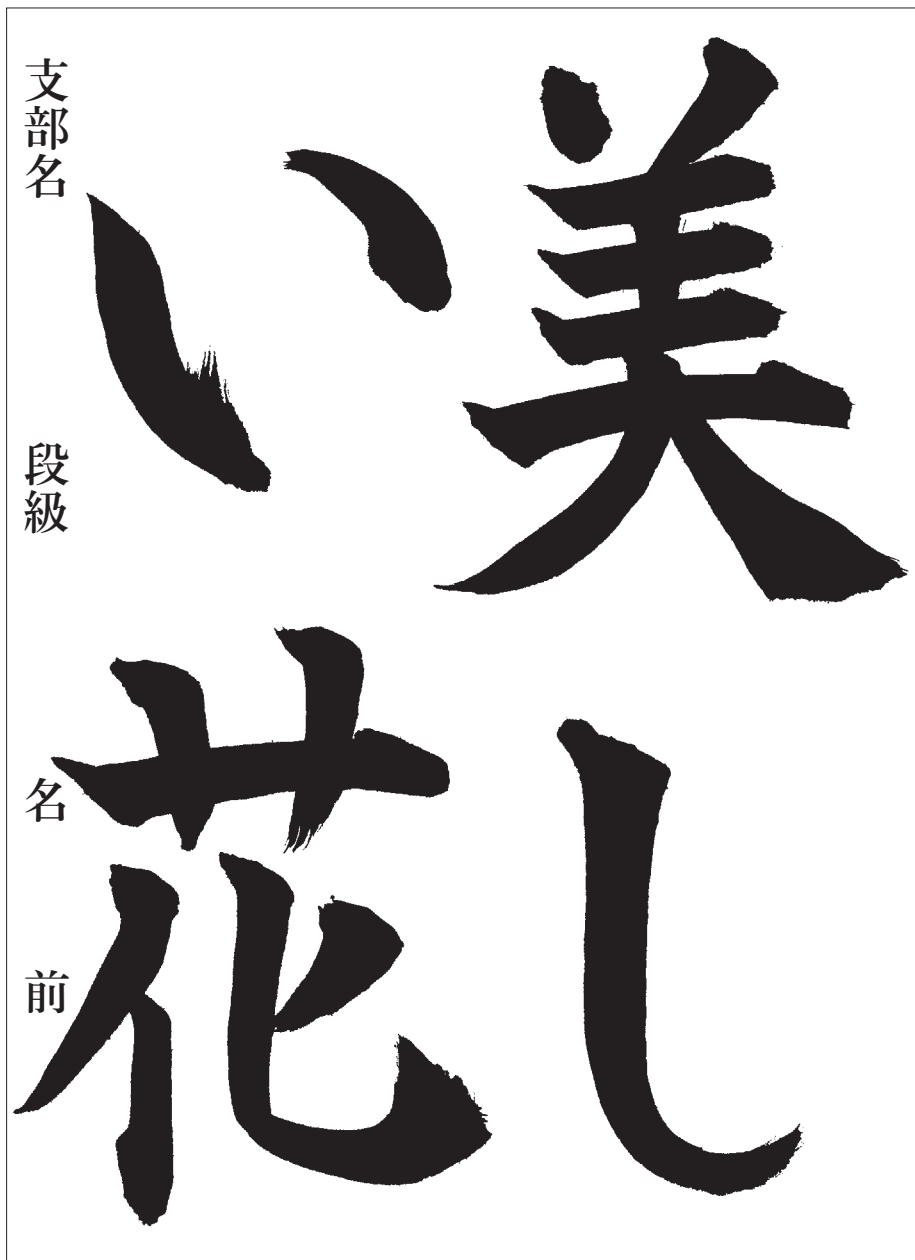
香白る梅

田邊玉翠先生

(4月10日締切)



新小4用



新小5用



朝平霞山先生

朝平霞山先生

(4月10日締切)

新小2用

支部名

段級

名前

主幹 菅野翠濤

新小3用

支部名

段級

名前

主幹 菅野翠濤

(4月10日締切)

新中1

ペン字も毛筆も、線の  
美しさの追求が大切。

中1～中3

新中2

健康は、自分自身に贈  
れる最高のプレゼント。

青柳江雲先生

新中3

桜が咲く日を線で結ん  
だものを桜前線と呼ぶ。

新小1・幼年用

支部名

段級

名

前



※先月号の予告を変更しました。

(4月10日締切)

新小1・幼年

さくら  
のつぼみ  
がふくら  
みました。

小1～小3

新小2

白いスイ  
センがさ  
いた。と  
てもきれ  
いだ。

若月久美子

新小3

春になっ  
たので風  
があた  
たかくな  
ってきた。

先生

新小4

春になり、  
うぐいすが  
庭で鳴き  
はじめま  
す。

小4～小6

新小5

雪が残る  
早春の山  
を絵にか  
いてみた  
。

齊藤翡流

新小6

毎年、春  
になると  
家族で花  
見に行き  
ました。

先生

(4月10日締切)

## 小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

花かおる  
庭の池

主幹 菅野翠濤

## 中学部かな課題

支部名

段級

名

前

高なまみの  
上はえがくや春の  
月

船久保 棠苑 先生

季語Ⅱ「春の月」

北斎の絵にあるような高浪の上に、春の月が黄色く描かれて、この絵は完成したというのである。単純な構図ながら大景がとらえられている句。

(4月10日締切)